

総務常任委員会報告事項資料

資料 番号	資 料 名	担 当 課
1	平成28年度地方創生関連交付金事業について	企画政策課
2	平成28年度地方創生関連交付金事業の概要	
3	平成28年度地方創生関連交付金事業の個別評価結果	
4	ラグビーオーストラリア代表チームの誘致について	
5	公共施設の利用状況等のアンケート結果について	公共施設 マネジ メント課
6	新たな住民窓口サービスと支所等の再編について	戸籍住民課
7	平成29年度小田原市いっせい防災訓練実施結果及び参加者アンケート結果について	防災対策課
8	平成29年度小田原市災害対策本部訓練実施結果について	

平成29年12月 5 日

平成28年度地方創生関連交付金事業について

1 地方創生関連交付金の概要

国は、地方創生の推進を図るべく地方創生関連の交付金制度を設けている。

地方創生関連交付金は、事業毎、KPI（重要業績評価指標）を設定し、毎年度その効果検証・報告を実施していくことが求められている。

2 平成28年度地方創生関連交付金事業（資料2）

（1）地方創生加速化交付金：平成27年度補正予算（平成28年度繰越）

ア 観光推進体制の強化と消費を誘発する観光の仕組みづくり

イ 創業するなら小田原！「創業支援×遊休不動産活用」

ウ 「忍者」のマーケティング・セールス事業

エ 未病の戦略的エリア「未病いやしの里」構築事業

※ウについては、三重県ほか9県市広域申請事業、エについては、神奈川県ほか10市町広域申請事業

（2）地方創生推進交付金：平成28年度当初予算（3か年事業）

地域とともに取り組む回遊性向上事業～来訪が促す地場産業の振興～

3 本年度における効果検証の経過

6月27日 産官学金労に関連する有識者によって構成される「小田原市総合戦略有識者会議」にて効果検証

8月2日 市長・両副市長をはじめとした関係幹部職員によって構成される「小田原市地方創生推進会議」にて効果検証

4 各交付金事業の概要及び効果検証結果

詳細については、資料3のとおり

5 今後の展開について

効果検証の対象となる全てのKPIについて、目標を達成することができたことから、引き続き各年度の目標を達成することができるよう努めていく。

平成28年度地方創生関連交付金事業の概要

資料2

地方創生加速化交付金

平成28年度交付決定総額 **78,100**千円 ※補助率10/10

交付金の説明: 一億総活躍社会実現に向けた緊急対策の一環として行う、地方創生を加速化させるための交付金。国の平成27年度第3次補正により措置された。

申請主体	交付対象事業名	交付決定額 (千円)	実績額 (千円)	事業概要及びKPI
単独	観光推進体制の強化と消費を誘発する観光の仕組みづくり	48,000	48,000	地域観光をトータルでマネジメントし、ワンストップでサービスの提供や効果的な情報発信を行うため、地域DMOを設立するとともに、観光コンテンツの充実、回遊性の向上、人を呼び込む仕組みづくりを推進し、観光客の増加と新たな消費誘発により地域経済の活性化を図る。 【KPI(目標)】 ①観光入込客数 目標値:504万人(H28目標) 基準値:451万人(H26時点) 実績値:594万人(H28.12時点) ②観光消費額 目標値:150億円(H28目標) 基準値:137億円(H26時点) 実績値:173億円(H28.12時点)
単独	創業するなら小田原!「創業支援×遊休不動産活用」	24,100	24,100	小田原箱根商工会議所実施。①遊休不動産調査による観光関連を中心とした創業者への情報提供②遊休不動産活用のためのワークショップ③、①と②を有効活用した創業塾開催、創業スキーム制作④事業継続を目的としたファンド関係の研究、設立⑤観光関連創業を意識したWEB・パンフレット作成による情報発信により、観光＝交流人口増加と地元で循環するお金の増加、創業者の増加と雇用の拡大、定住促進による人口増加を目指す。 【KPI(目標)】 ①本事業に関連した起業件数 目標値:5件(H28目標) 実績値:10件(H29.3.31時点) ②就職面接会相談件数 目標値:120名(H28目標) 実績値:202件(H29.3.31時点)
広域	「忍者」のマーケティング・セールス事業	5,000	5,000	日本忍者協議会への負担金が交付対象経費。事業概要は、マーケティング調査、旅行会社へのセールス、通販サイトの創設、コラボ商品開発及び協賛促進等。 【KPI(目標)】 観光入込客数 目標値504万人(H28目標) 実績値:594万人(H28.12時点)
広域	未病の戦略的エリア「未病いよしの里」構築事業	1,000	999	県が推進する「未病」をテーマに県西の各市町がそれぞれの地域資源を生かした取組みを進めることはもちろん、地域が一体となって戦略的に地域の魅力を発信していく取組みが求められている。小田原市は、脳血管疾患予防プロジェクトを具体事業として盛り込んでいる。 【KPI(目標)】 市特定健診受診者における高血圧有所見者の割合 目標値25.2%(H28目標) 実績値:22.8%(H28年度末時点)

地方創生推進交付金

・交付金の説明: 地方創生を実現するための総合戦略事業を後押しするための交付金。
・交付金の型として、先駆性を重視する「先駆タイプ」(5か年認定)、先進的・優良事例の横展開を図る「横展開タイプ」(3か年認定)、既存事業の隘路を発見し打開を図る「隘路打開タイプ」がある。本市は、平成28年度に横展開タイプ-3か年での計画を提出し、計画上の認定を受けている。

第1回地方創生推進交付金

平成28年度交付決定総額 **14,147**千円 ※補助率5/10(残は一部交付税)

申請主体	交付対象事業名	交付決定額 (千円)	実績額 (千円)	事業概要及びKPI
単独 (横展開)	地域とともに取り組む回遊性向上事業～来訪が促す地場産業の振興～	14,147	12,178	観光回遊バスの運行やレンタサイクルの実施など、「回遊性の向上」に地域一丸となって取り組む事業。地域連携DMOと地域DMOがそれぞれの強みを活かして連携・補完することにより広域連携をも図る。さらには、観光資源界限において提供される地場産品自体の商品力を高めるため、長期的な視点に立ったブランディングに努めていく。なお、事業計画は、3か年であり、平成28年度はその1年目に当たる。当初認定を受けている事業計画は以下のとおり。 1年目:28,295千円 2年目:43,977千円 3年目:45,777千円 当初認定3か年対象経費総額:118,049千円(※補助は、対象経費の1/2) 【KPI(目標)】 ①観光入込客数 目標値:504万人(H28目標) 基準値:451万人(H26時点) 実績値:594万人(H28.12時点) ②レンタサイクル利用者数 目標値:3,000人(H28目標) 基準値:2,554人(H27時点) 実績値:4,039人(H29.3時点) ③「HaRuNe小田原」内街かど案内所における観光案内件数 目標値:3,547件(H28目標) 基準値:3,512件(H26時点) 実績値:5,158件(H28時点)

No	交付金 種別	交付対象 事業の名称	事業における 実施項目	交付金を活用してH28年度に実施 した詳細内容	外部有識者等からの評価		項目事業の今後の展開に ついて	
					事業の 評価	評価の理由	今後の 方針	今後の展開内容
1	地方創生 加速化交 付金	観光推進体 制の強化と 消費を誘発 する観光の 仕組みづく り	観光推進体 制の強化	4~7月 委託契約(契約額6,000,000 円)、コンサル会社との調整 地域DMO設置準備会(観光まちづくり 推進懇話会)開催 9月 第1回会議開催 12月 第2回会議開催 3月 第3回会議開催 地域DMO計画策定会議開催 9月~3月 毎月1回計7回会議開 催 観光関係者ヒアリング調査 8~9月 観光まちづくり推進懇話 会メンバー14団体 成果物 「小田原地域DMO事業計画書」、 地域DMO平成29年4月1日発足 【事業費】委託料6,000,000円	KPI達成 に有効 であった	本市の観光推進体制 を強化するため、市 内観光関連団体の協 力のもと、観光プラッ トフォーム(地域DM O)を小田原市観光 協会内に立ち上げる ことができ、今後、さ らなる観光振興に向 けた環境が整った。	予定ど おり事 業終了	市内の観光関連団体 と合意形成を図り、 (一社)小田原市観光 協会に地域DMO機 能を設置し、平成29 年4月1日付で地域 DMO機能がスタート したことにより、当該 事業は目的を達成し 事業としては終了。 引き続き、地域DMO 機能維持のため、 (一社)小田原市観光 協会と二人三脚で観 光推進に取り組んで いく。
2			時代が見え るまち歩き アプリ「ある くべえよ」の 開発・導入	4~6月 プロポーザル審査・契約(契 約額 24,000,000円) 7月 観光振興関係団体で構成さ れた第1回検討会議開催 10月 第2回検討会議開催 12月 第3回検討会議開催 2月 第4回検討会議開催 3月 テスト版アプリ公開 4月17日 正式版公開 (概要) アプリ名:小田原市公式観光アプリ ケーション「小田原さんぽ」 内容:観光地検索、モデルコース検 索、イベント検索。仮想空間体験、ポ イントラリー機能、記念写真撮影機能 など 【事業費】委託料24,000,000円	KPI達成 に有効 であった	市内650スポットの 情報とともに、市内観 光関連団体や庁内の 関係部署から要望が 多くあった仮想空間 体験ポイントを充実さ せたアプリケーション を開発することがで き、今後、まち歩き観 光のさらなる推進に 向けた環境を整える ことができた。	事業の 継続	仮想空間体験ポイン トなどに周知看板を 設置するなど、PRに 尽力し、利用者の更 なる増大を目指す。 また、ポイントラー ー機能や記念写真撮影 機能を活用し、リピー ターに利用してもらえ る仕組みを検討して いく。
3			小田原が誇 る表裏の英 雄・北条五 代と風魔忍 者 認知度 向上作戦	①(仮称)北条五代物語の発行 ・歴史小説家伊東潤氏に、北条氏の 大河ドラマ化のPRにつながる著作の 執筆を依頼し、執筆を完了した。 ②交通事業等とのタイアップによる観 光ツアー造成及びPR ・JR東海及びJR東日本との連携によ り、観光ツアー造成及びPRを行い、 都市部から本市への「人の流れ」を造 り出した。 ・本市の外国人観光客として実績の 高い台湾を対象とした重点的にPR事 業を行い、本市への誘客を造り出し た。 【事業費】報償費5,000,000円、委託料 4,798,755円	KPI達成 に有効 であった	歴史小説家の伊東潤 氏に北条氏康にス ポットを当てた作品 を執筆していただく とともに、交通事業者 とのタイアップ事業 では、主要駅でのPR をはじめ、各種旅行商 品を造成し、誘客を 図った。また、台湾向 けには、WEB上でP Rを行い、事業目的 である小田原の各種 資源を活用したPRを 行うことができた。	事業内 容の見 直し (改善)	詳細事業の効果検証 を行い、効果的に事 業を推進できるように 詳細事業の追加・変 更を行う。
4			千年のなり わい「木の 文化」を活 かした魅力 向上策	本市の観光の玄関口である小田原駅 等の施設に、地域産木材を使ったし つらえを施し、地域の「木の文化」を観 光客にアピールするとともに、地場産 業の振興及び観光の間口の魅力向 上にもつなげた。 委託料 10,331,640円	KPI達成 に有効 であった	観光客を含む回遊客 に、木の持つ温かみ や良さをアピールし つつ、施設の利便性 及び魅力を向上させ ることに寄与してい る。 小田原駅の自由通 路から東口方面への 雰囲気づくりは充実 してきている。一方、 西口方面はまだ改善 の余地があるので、 関連企業とも連携し て魅力の向上を図ら れたい。	予定ど おり事 業終了	—

平成28年度地方創生関連交付金事業の個別評価結果

No	交付金 種別	交付対象 事業の名称	事業におけ る実施項目	交付金を活用してH28年度に実施 した詳細内容	外部有識者等からの評価		項目事業の今後の展開に ついて	
					事業の 評価	評価の理由	今後の 方針	今後の展開内容
5	地方創生 加速化交 付金	創業するなら小田原！ 「創業支援×遊休不動産活用」～ 小田原ならではの雇用 創出とまちの再生～	遊休不動産 の実態調査	調査会社と委託契約を結び、①調査の目的②調査エリア③調査項目④スケジュール⑤取り組み体制について打合せを行い、8月1日より小田原市内の4エリアに絞って実態調査を実施。なお2月にHP「県西2市8町ポータルサイト」が完成、小田原市を含めた2市8町の物件情報がこのページより閲覧することが出来るHPとなっているため、今後は物件情報の共有や魅力発信事業で製作するHPのリンクなどにより創業者への情報発信ツールとして活用していく。その他レポートを作成、今後の小田原における空き家・空き店舗利用への提言等を取りまとめた。 委託料 5,799,600円	KPI達成に有効であった	小田原の主要箇所を調査、基礎資料として当年空き家ツアーを開催するなど効果的な調査を実施出来た。併せて調査地区の効果的な活用策もレポートに取り纏めることが出来た。 官民連携により遊休不動産の活用を進めて行くことは大切だと感じる。	事業の継続	28年度の情報を各HPリンクによる情報共有など進めていく。
6			不動産遊休 活用企画	空き家・空き店舗実態調査を実施した調査内容を受けて、2月と3月に調査地区を中心とした「空き家ツアー」を栄町、国府津地区にて実施、徒歩で小田原を巡り、空き家・空き店舗や実際のリノベーション事例を見つ、周辺環境なども知ってもらうツアー。所要時間2時間ほどでより関心の強い方には、終了後相談会も実施。 委託料 500,000円	KPI達成に有効であった	創業塾受講者を対象とした空き家ツアー開催により小田原での創業についての魅力を伝えることが出来た。また実際の創業者との会話の中で創業の苦労話なども聞くことが出来効果的であった。 なお、空き家を物件化して、空き家自体に価値を持たせる取組も一つの活用方法として考えられる。	事業の継続	29年度もツアー回数を増やして創業希望者の参加を促していく。
7			創業塾開催 費創業支援 スキーム構 築	まち元気小田原が5月に実施した起業スクールと連携しながら、秋に「第3新創業市 創業塾」講座を7回シリーズで開催、述べ230名が受講、その他オープニングイベントやビジネスプランコンテストを開催し、小田原での創業を促した。また1年間の取りまとめレポートを作成し、金融機関、行政、橋商工会などと創業スキームを共有。 委託料ほか 7,886,928円	KPI達成に有効であった	創業塾を通じて今年度5名が創業、大いに成果を挙げることが出来た。 関連した取組として、高校生などに進路を考えるに当たって、ベンチャーなど創業の道があることを知ってもらうセミナーの開催を官民連携によりできたことは非常に良かった。	事業の継続	29年度も起業スクール及び創業塾を開催。
8			ファンド設 立に伴う調 査	創業支援者(金融機関や会議所、行政など)の方を主とした「創業者支援セミナー」を3回開催【計92名参加】、3回のセミナーでの創業のポイントについての取りまとめや金融情報を取りまとめたレポートを作成、その他創業塾ビジネスプランコンテストではブチクラウドファンディングを企画、実施など行ってきました。なお、レポートでは当チームが取りまとめた『小田原箱根ファンド(仮称)モデル案』に掲載。(セミナー)謝金ほか1,037,478円	KPI達成に有効であった	セミナーやレポート作成による創業情報の共有が図られたと共に寄附型のファンドモデルを提案、今後の創業資金調達策を取りまとめることができた。	事業の継続	ファンドモデルを世襲して当地域内で創業する方を対象とした事業を実現に向けて進めていく。
9			魅力発信事 業	小田原における創業の魅力を伝えるため周辺市町共に都心部へ3回PR事業を展開、またHPを通じて創業者のインタビューや小田原地域の魅力発信や周辺市町と連携したモデルコース(案)などを製作、小田原での創業をより具現化できるような内容を構築。 委託料 8,898,000円	KPI達成に有効であった	小田原での創業に関する情報をひとつに取りまとめられた点や小田原で創業した人のインタビューなど通じて小田原の魅力を発信することができた。	事業の継続	HP管理は委託業者が継続して更新など行い、小田原での創業情報を発信していく。

平成28年度地方創生関連交付金事業の個別評価結果

項目事業の今後の展開について					外部有識者等からの評価			
No	交付金 種別	交付対象 事業の名称	事業における 実施項目	交付金を活用してH28年度に実施 した詳細内容	事業の 評価	評価の理由	今後の 方針	今後の展開内容
10	地方創生 加速化交 付金	忍者のマー ケティング・ セールス推 進事業	日本忍者協 議会負担金	1マーケティング調査 2広域周遊ルートの旅行商品化促進 3「忍者」文化の発信 (1)イベント開催(忍NINパーティー・企 画展「THE NINJA-忍者ってナン ジャ!?」・忍者まつり) (2)広報活動(忍者の日イベント・忍者 についてプレスリリース・) (3)「Legend of The Ninja」の国内外 放送拡大 (4)公式ホームページ及びSNSでの 情報発信 4自主財源の確保に向けた取り組み (1)個人会員の募集(忍者ミーティン グ開催・HPへの通販販売サイト開設・ 「忍者」とのコラボレーション商品・ サービス開発促進 【事業費】負担金5,000,000円	KPI達成 に有効 であった	忍者のプロモーション やマーケティング、 ファムトリップなど各 種事業を行うことによ り、忍者の広くPRす ることができた。	事業内 容の見 直し (改善)	詳細事業の効果検証 を行い、効果的に事 業を推進できるように 詳細事業の追加・変 更を行う。
11		未病の戦略 的エリア 「未病いや しの里」構 築事業(県 西地域活性 化プロジェ クト)	「未病を改 善する」健 康生活普及 促進事業	小田原食品衛生協会と業務委託契約 を締結し、「健康具だくさん味噌汁」コ ンテストを実施。広く周知するための 発表会や試食、レシピの配布を行い、 健康情報の発信などを行った。 委託料 948,000円 血管年齢測定器の7測定速度等を改善 し円滑化を図るため、加圧度脈波測 定器の更新用ソフトを購入した。 備品購入費 51,840円	KPI達成 に有効 であった	高血圧予防につな がる減塩を意識した「健 康食」を市民を巻き 込んで開発し、健康 情報とともに発信す ることで、広く普及 ができて、健康意識 の高揚につながっ た。	事業の 継続	食品衛生協会会員 (プロ)による健康食 メニューの考案を行 い、市内飲食店で販 売できるようにするこ とで、食品を扱う方と 市民への健康意識の 高揚につなげる。
12		地方創生 推進交付 金	歴史的建造 物・岡田邸 活用事業	・一般公開のための臨時職員を4名 採用し、平成28年5月から、週4日及 び祝日に一般公開を行った。(開館日 数172日、来館者数7,005人、賃金 633,930円) ・公開にあたり、来館者の危険排除及 び美観保持のため、茶室及び待合の 一部を最低限修繕した。(198,366円)	KPI達成 に有効 であった	対象建築物は、小田 原城跡から西海子・ 小田原漁港方面への 誘客、近接する小田 原文学館との連携を 図りながら公開する ことで、回遊性を向上 させることに寄与して いる。岡田邸に限ら ず、歴史的建造物 は、いかに観光との 結びつきを強めてい けるかがカギ。	事業の 継続	対象建築物は、由緒 や立地の面で歴史的 観光資源としての素 質が非常に高いた め、一般公開等着実 に保全するとともに、 所有者と協議を行い ながら、公開日数の 拡大及び公開時間の 延長を検討していく。
13	地域ととも に取り組む 回遊性向上 事業～来訪 が促す地場 産業の振興 ～		観光資源回 遊・まち歩き パンフレット 作成事業	小田原の観光資源である「なりわい」 と「邸園(邸宅と庭園の造詣)」を紹介 するまち歩きに特化したパンフレット、小 田原まち歩きガイドブック「あるってこ 〜小田原まち歩き〜」を、平成29年3 月に(一社)小田原市観光協会から発 行した。発行部数10万部。観光案内 所ほか市内各所にて配架し、小田原 のまち歩き観光を紹介する新たな ツールとして活用することとした。 【事業費1,735,000円】	KPI達成 に有効 であった	KPIの実績値からも 事業の効果があつた と考えられる。	予定ど おり事 業終了	パンフレット発行によ り、当該事業につい ては事業終了。今 後、観光客の声も聴 きながら、増刷や改 定など見直しを行っ ていく。
14	魚ブランド 化促進事業		小田原で漁獲される豊富な魚の価値 と可能性を内外に広く伝えることで水 産業振興を図るため、水産関係団体 等とともに「小田原の魚」の認知度向 上と消費拡大に向けた取り組みを実施 した。 需用費 19,440円 委託料 239,400円 負担金補助及び交付金 1,000,000円	KPI達成 に有効 であった	水産地方卸売市場に おける地魚の取扱金 額の向上に寄与し た。	事業の 継続	事業内容を精査しな がら、事業について は、継続して実施して いく。	

平成28年度地方創生関連交付金事業の個別評価結果

No	交付金 種別	交付対象 事業の名称	事業におけ る実施項目	交付金を活用してH28年度に実施 した詳細内容	外部有識者等からの評価		項目事業の今後の展開に ついて	
					事業の 評価	評価の理由	今後の 方針	今後の展開内容
15	地方創生 推進交付 金	地域とともに 取り組む 回遊性向上 事業～来訪 が促す地場 産業の振興 ～	交流促進施 設等整備事 業	交流人口の拡大と小田原の魚の消費 拡大を通じて、水産業の振興と地域 の活性化を図ることを目的に、小田原 漁港交流促進施設を整備するため、 実施設計業務を行った。 委託料 23,716,800円	KPI達成 に有効 であった	小田原漁港交流促進 施設の入込客数の目 標を達成するために 計画通り事業を遂行 できた。	事業の 継続	事業内容を精査しな がら、事業について は、継続して実施して いく。
16			小田原みな とまつり開 催事業	小田原漁港を中心に市民及び観光客 に広く水産業を紹介するとともに、港 を海と人とのふれあいの場として、地 域漁業の活性化を図り、さらに、小田 原の地魚の魅力を発信するため、み なとまつりを8/7(日)に開催し、55,000 人の来場者となった。また、1週間前 にハルネ小田原でプレイベントを開催 した。 負担金補助及び交付金 4,200,000円	KPI達成 に有効 であった	水産地方卸売市場に おける地魚の取扱金 額の向上に寄与し た。	事業の 継続	事業内容を精査しな がら、事業について は、継続して実施して いく。
17			小田原地下 街「HaRuNe 小田原」にお ける地場産 品のブラン ディング・魅 力発信事業	小田原地下街「ハルネ小田原」におい て、水産市場夕市を開催することによ り、新鮮な地場産の魚の消費拡大を 推進するとともに、来訪者が水産市場 のにぎわいを体験する新たな機会を 創出する。また、夕市に新鮮な魚を提 供するため、一本釣り漁業の計画的 な操業の確立に向けた調査操業を実 施した。(夕市開催日:12/8～14の日 曜日を除く6日間) 委託料 158,067円	KPI達成 に有効 であった	水産地方卸売市場に おける地魚の取扱金 額の向上に寄与し た。	事業の 継続	事業内容を精査しな がら、事業について は、継続して実施して いく。

ラグビーオーストラリア代表チームの誘致について

1 ラグビーワールドカップの事前キャンプ誘致の目的

- (1) ラグビー準備委員会では、本市のスポーツ振興や地域活性化につなげるため、2019年のラグビーワールドカップの事前キャンプを誘致することとした。
- (2) 本市が、ノーザンビーチ市（旧マンリー市）と1991年から友好都市関係を築いていることから、世界ランク3位の实力と人気を兼ね備えたオーストラリア代表チームを誘致することとした。

2 誘致体制及び活動状況

- (1) 誘致活動については、小畑江至氏（ラグビー準備委員会の誘致アドバイザー）が代表を務めるラグビーコネクト合同会社に委託。
- (2) 同社は、オーストラリアを中心に世界のラグビー界に太い人脈を有するキース・デービス氏を活用して誘致活動を実施。
- (3) 現在、キース氏は、オーストラリアラグビー協会を含むラグビー関係者に接触を図るなどして、誘致活動を展開中である。

【（参考）キース・デービス氏プロフィール】

イギリス生まれの57歳。現在、オーストラリア在住であるが、1年の半分程は日本でラグビーチームのコーチに従事している。オーストラリア・ウェールズ・イングランドのコーチング資格を保有し、海外チームでの各種コーチの経験や、日本においては伊勢丹や本田技研ラグビー部のヘッドコーチなど、30年以上に渡るコーチ歴を持ち、日本語も堪能である。また、2016年にはスーパーラグビーのレッズ（豪州）に在籍した五郎丸歩選手の現地個人マネージャーとしても活躍した。

3 日本国内トレーニング拠点の募集

- (1) オーストラリアラグビー協会から10月16日に、2018年から2020年までの3年間のオーストラリア代表（男子15人制代表と男女セブンズ代表）の日本国内での練習拠点（ホスト都市）を募集する旨の案内が届いた。
- (2) 応募には、宿泊ホテル、練習グラウンド等について一定の要件があるが、本市は概ね要件を満たしており、ホスト都市になると、ワールドカップの事前キャンプ誘致にも優位に働くと考えられることから、市として応募することとした。
- (3) ホスト都市となった場合の費用負担については、今後調整を図っていく。
- (4) 今後、12月に関係者による視察が行われ、来年1月下旬から2月上旬にはホスト都市が発表される予定である。

4 今後の誘致活動について

- (1) ホスト都市の選考に係る対応を進めるとともに、キース氏による関係者へのロビー活動など、ワールドカップの事前キャンプ誘致活動を継続していく。
- (2) その他、国内外のラグビー関係者に小田原をPRしていくためのイベントを実施していくこととし、その第1弾として、12月22日に市民会館で、元日本代表監督であるエディ・ジョーンズ氏を招いた講演会を開催する予定である。

公共施設の利用状況等のアンケート結果について

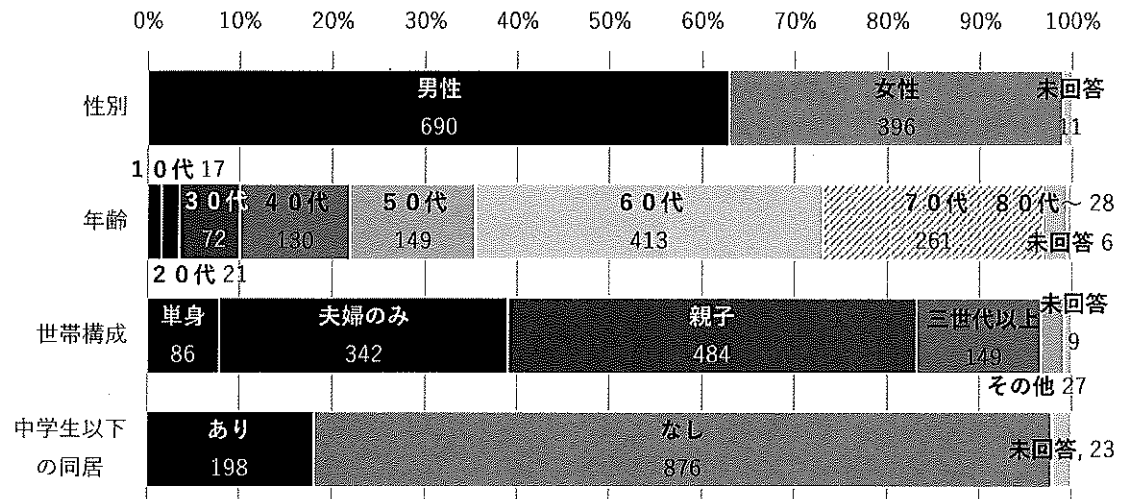
実施方法：広報委員を通じたアンケート

対象者数：1,260件（市内在住の15歳以上）

実施時期：平成29年9月4日～9月30日

回収件数：1,097件（回収率87.1%）

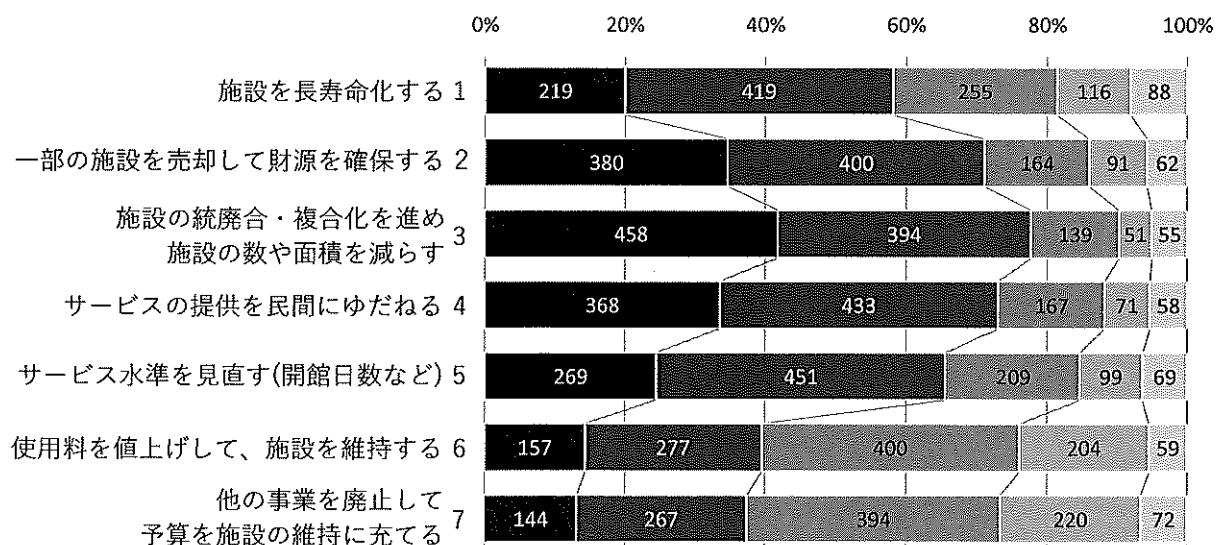
■1 回答者の属性について



■2 小田原市の施設の利用頻度について

裏面のとおり

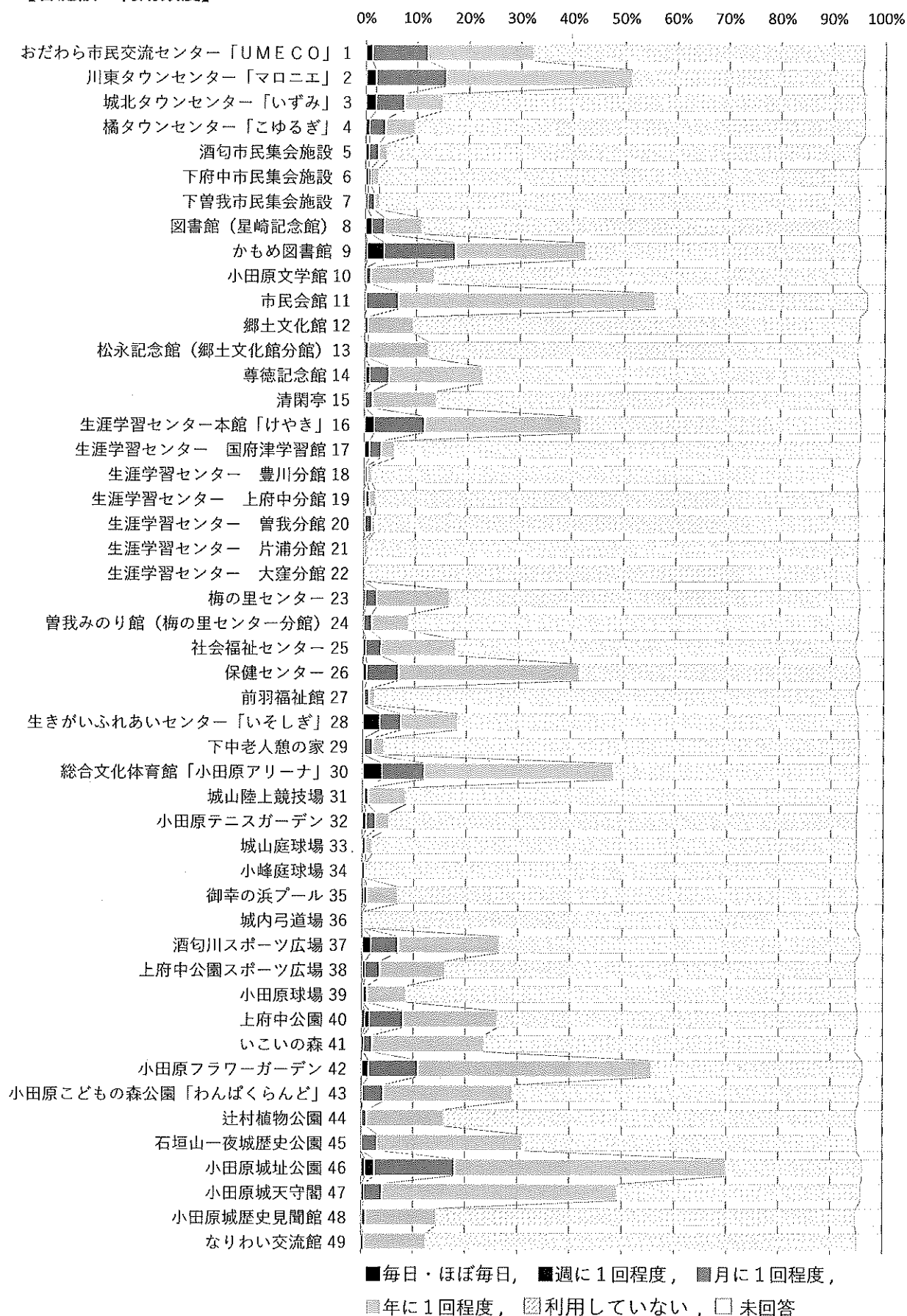
■3 財源不足への対応について



■実施すべき, ■どちらかというを実施すべき,

■どちらかというを実施すべきでない, ■実施すべきでない, ■未回答

【各施設の利用頻度】



【参考】月に1回以上利用している施設の居住地区別分布

(地区ごとの「毎日・ほぼ毎日」「週に1回程度」「月に1回程度」と回答した人数)/各地区回答者数

(%)

	地区名	緑	新玉	万年	幸	十字	片浦	早川	大窪	山王網 一色	足柄	芦子	二川	久野	東富水	富水	桜井	酒匂・ 小八幡	下府中	富士見	豊川	上府中	曾我	下曾我	国府津	前羽	橘北	未回答	
	各地区回答者数(人)	32	15	36	28	24	19	31	23	25	29	35	20	78	63	80	60	100	52	31	25	44	36	30	65	30	80	6	
1	おだわら市民交流センター「UMECO」	18.8	20.0	27.8	25.0	37.5		9.7	30.4	4.0	24.1	20.0	5.0	11.5	11.1	13.8	13.3	6.0	7.7	16.1	20.0	6.8	11.1	6.7	7.7	3.3	1.3		
2	川東タウンセンター「マロニエ」	6.3	6.7	13.9	7.1	8.3	5.3	16.1	4.3	8.0	6.9	8.6	15.0	6.4	9.5	8.8	6.7	24.0	67.3	29.0	32.0	29.5	8.3	3.3	29.2	10.0	3.8	33.3	
3	城北タウンセンター「いずみ」	3.1		2.8		4.2							10.0		27.0	43.8	23.3	2.0	1.9		4.0		11.1				2.5	16.7	
4	橘タウンセンター「こゆるぎ」			2.8														2.0							1.5	30.0	36.3		
5	酒匂市民集会施設																	26.0							1.5		1.3		
6	下府中市民集会施設			2.8														1.0	17.3										
7	下曾我市民集会施設			2.8															1.9					50.0	1.5		1.3		
8	図書館(星崎記念館)	3.1	6.7	25.0	28.6	25.0		9.7	8.7			11.4		1.3		2.5		1.0				2.3			1.5		1.3		
9	かもめ図書館	18.8		38.9	17.9	25.0		22.6	13.0	12.0	41.4	14.3	25.0	7.7	15.9	13.8	6.7	24.0	23.1	58.1	20.0	27.3	11.1		15.4	20.0	2.5	16.7	
10	小田原文学館			5.6		16.7								2.6		1.3								3.3	3.1				
11	市民会館	6.3	13.3	16.7	25.0	4.2	5.3		8.7	4.0	10.3	8.6	5.0	5.1	6.3	3.8	15.0	6.0	3.8	9.7	4.0	9.1		6.7	4.6		2.5		
12	郷土文化館			2.8		8.3			4.3			5.7															1.3		
13	松永記念館(郷土文化館分館)			5.6		4.2			4.3			2.9					1.7					2.3					1.3		
14	尊徳記念館		6.7						4.3		3.4	2.9		1.3	7.9	5.0	45.0		5.8	3.2			8.3		4.6		1.3		
15	清閑亭	3.1		11.1	7.1	4.2			4.3		6.9	2.9			1.6				1.9	3.2		2.3							
16	生涯学習センター本館「けやき」	15.6	13.3	13.9	21.4	12.5	10.5	12.9	4.3	4.0	13.8	31.4	10.0	25.6	11.1	6.3	13.3	8.0	13.5	9.7	12.0	6.8	22.2	3.3	10.8		2.5		
17	生涯学習センター 国府津学習館			2.8														1.0	1.9						49.2		1.3		
18	生涯学習センター 豊川分館	3.1										2.9			1.6						16.0								
19	生涯学習センター 上府中分館																					20.5		3.3				16.7	
20	生涯学習センター 曾我分館																						41.7				1.3		
21	生涯学習センター 片浦分館						5.3																						
22	生涯学習センター 大窪分館																												
23	梅の里センター									4.0									1.9			6.8	13.9	56.7			2.5		
24	曾我みのり館(梅の里センター分館)																		1.9	3.2		4.5	30.6	6.7					
25	社会福祉センター	6.3	6.7	5.6	14.3	4.2		3.2	4.3	4.0	3.4	11.4		2.6	4.8	1.3	1.7	3.0	1.9	3.2		4.5		13.3	1.5		1.3	16.7	
26	保健センター	9.4		5.6	3.6			6.5	4.3		6.9	5.7	5.0	2.6	3.2	6.3	8.3	22.0	7.7	19.4	4.0	11.4	8.3	3.3	4.6		3.8		
27	前羽福祉館																								1.5	40.0			
28	生きがいふれあいセンター「いそしぎ」	12.5	6.7	2.8	3.6		5.3						5.0	3.8	4.8	3.8	3.3	31.0	5.8	35.5		4.5	8.3	6.7	9.2	3.3	2.5		
29	下中老人憩の家																	1.0									25.0		
30	総合文化体育館「小田原アリーナ」	3.1		13.9	10.7	4.2		12.9	4.3	4.0	6.9	11.4	5.0	10.3	34.9	21.3	26.7	5.0	11.5	22.6	28.0	15.9	19.4		7.7		1.3		
31	城山陸上競技場			2.8		4.2					3.4	5.7		1.3				2.0		3.2	4.0				1.5		1.3		
32	小田原テニスガーデン			2.8				3.2	8.7	4.0		5.7	5.0	1.3	6.3	1.3	3.3	3.0	1.9			9.1		3.3			3.8		
33	城山庭球場											2.9				1.3		1.0	1.9			2.3					2.5		
34	小峰庭球場					4.2		3.2						1.3		2.5											2.5		
35	御幸の浜プール			8.3	10.7	8.3					3.4																1.3		
36	城内弓道場				3.6								5.0																
37	酒匂川スポーツ広場	9.4		13.9	7.1	8.3		6.5		8.0	17.2	5.7		2.6	1.6	8.8	10.0	10.0	17.3	29.0	8.0		2.8	6.7	4.6		2.5		
38	上府中公園スポーツ広場	3.1		2.8	3.6	4.2									3.2	1.3	5.0	3.0	5.8		8.0	18.2	5.6	16.7	4.6	3.3	1.3		
39	小田原球場			2.8				6.5									1.7		1.9		4.0	2.3	5.6	3.3			1.3		
40	上府中公園	3.1	6.7	5.6	3.6	4.2			8.7		10.3	2.9	10.0	3.8	4.8	5.0	3.3	3.0	9.6	6.5	20.0	50.0	22.2	30.0	7.7	6.7	1.3		
41	いこいの森	3.1		5.6	3.6				4.3			8.6		6.4	1.6	2.5		2.0	3.8				2.8		1.5				
42	小田原フラワーガーデン	15.6		8.3	7.1		5.3	6.5	17.4	16.0	27.6	17.1	10.0	32.1	4.8	23.8	10.0	4.0	7.7	22.6	8.0		8.3	6.7	3.1	3.3	5.0		
43	小田原こどもの森公園「わんぱくらんど」	3.1		11.1		4.2			13.0	4.0	6.9	20.0		7.7	3.2	7.5	6.7	5.0	1.9				2.8		3.1				
44	辻村植物公園	3.1		2.8	3.6				4.3			5.7		2.6	1.6	1.3											1.3		
45	石垣山一夜城歴史公園	6.3		5.6	10.7	16.7		6.5	13.0		6.9	11.4		3.8	1.6	1.3	1.7	1.0	1.9			4.5			1.5		1.3		
46	小田原城址公園	31.3	33.3	52.8	64.3	66.7	5.3	12.9	34.8	16.0	24.1	42.9	5.0	15.4	9.5	11.3	13.3	13.0	19.2	16.1	16.0	13.6	13.9	3.3	10.8	6.7	2.5		
47	小田原城天守閣	12.5		11.1	7.1	8.3			4.3		10.3	11.4		7.7	3.2	1.3	8.3	1.0	3.8	6.5			2.8		1.5	3.3	2.5		
48	小田原城歴史見聞館			2.8		4.2						5.7		2.6		1.3	1.7								1.5		1.3		
49	なりわい交流館		6.7	22.2	10.7				4.3		3.4	2.9				1.3	1.7												
	合計	緑	新玉	万年	幸	十字	片浦	早川	大窪	山王網 一色	足柄	芦子	二川	久野	東富水	富水	桜井	酒匂・ 小八幡	下府中	富士見	豊川	上府中	曾我	下曾我	国府津	前羽	橘北	未回答	

【凡例】空欄：0%、□：10%未満、▢：10%以上～30%未満、■：30%以上～50%未満、■50%以上

公共施設の利用状況等のアンケート

小田原市では、平成 29 年 3 月に「公共建築物マネジメント基本計画」を策定し、市内にある公共施設の計画的な保全、機能や配置の見直し、民間活力の活用に向けた取り組みに着手したところです。

今回のアンケートは、特に、施設の機能や配置の見直しに向けた取り組みの参考とするために、その利用状況等について伺うものです。

なお、お答えいただいた内容について、回答者個々の情報が公開されることはありません。

アンケートにご協力くださるようお願いいたします。

調査内容 : 公共施設の利用状況および公共施設に関するご意見
 調査対象者 : 市内在住の 15 歳以上の個人
 依頼人数 : 1,260 人
 依頼方法 : 市内 252 地区自治会から選出された広報委員を通じ、各地区 5 名の住民に配布
 調査方法 : 訪問留置調査
 回答締切 : 平成 29 年 9 月 30 日 (土) までに、お住いの地区の広報委員へ提出
 問い合わせ : 〈アンケート内容〉 小田原市 公共施設マネジメント課 電話 0465-33-1305
 〈配布・回収方法〉 小田原市 広報広聴課 電話 0465-33-1263

■回答者の属性について

ご自身について、あてはまるものに○をつけてください。

- ① 性 別 : 1) 男性 2) 女性
- ② 年 齢 : 1) 10 代 2) 20 代 3) 30 代 4) 40 代 5) 50 代 6) 60 代 7) 70 代 8) 80 歳以上
- ③ 世帯構成 : 1) 単身 2) 夫婦のみ 3) 親子 4) 三世代以上 5) 兄弟姉妹のみ 6) その他
- ④ 中学生以下の同居 : 1) あり 2) なし
- ⑤ 住 ま い :
- | | | | | | | |
|--------|----------|------------|---------|---------|--------|---------|
| 1) 緑 | 2) 新玉 | 3) 万年 | 4) 幸 | 5) 十字 | 6) 片浦 | 7) 早川 |
| 8) 大窪 | 9) 山王網一色 | 10) 足柄 | 11) 芦子 | 12) 二川 | 13) 久野 | 14) 東富水 |
| 15) 富水 | 16) 桜井 | 17) 酒匂・小八幡 | 18) 下府中 | 19) 富士見 | 20) 豊川 | 21) 上府中 |
| 22) 曾我 | 23) 下曾我 | 24) 国府津 | 25) 前羽 | 26) 橘北 | | |

■小田原市の施設の利用頻度について

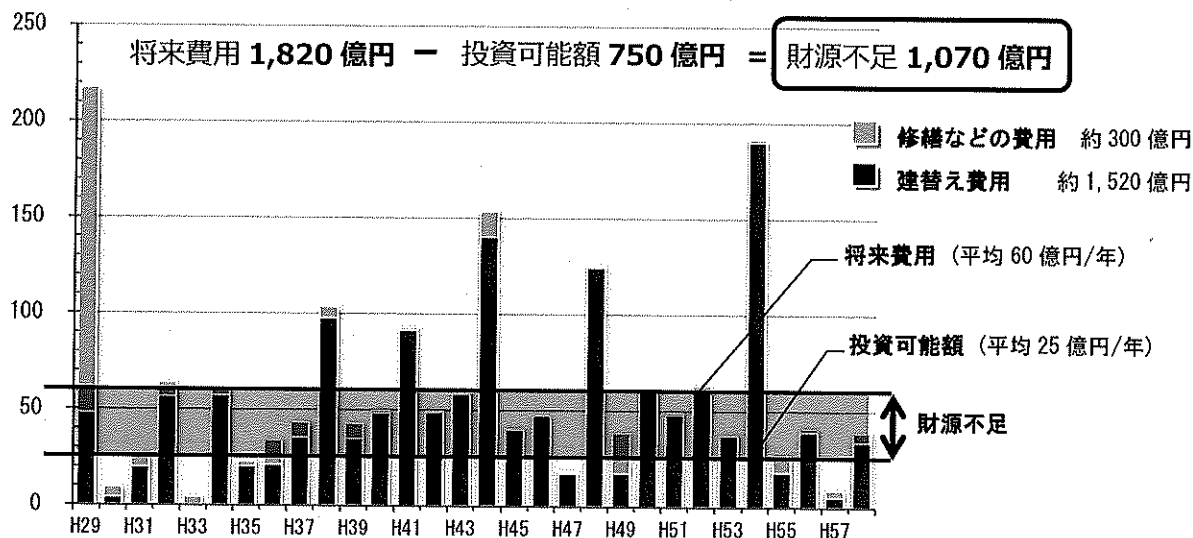
それぞれの施設について、該当する番号に○をつけてください。

施 設 名	利 用 頻 度				
	1 毎 日 ・ ほ ぼ 毎 日	2 週 に 一 回 程 度	3 月 に 一 回 程 度	4 年 に 一 回 程 度	5 利 用 し て い な い
① おだわら市民交流センター「UMECO」	1	2	3	4	5
② 川東タウンセンター「マロニエ」	1	2	3	4	5
③ 城北タウンセンター「いずみ」	1	2	3	4	5
④ 橘タウンセンター「こゆるぎ」	1	2	3	4	5
⑤ 酒匂市民集会施設	1	2	3	4	5
⑥ 下府中市民集会施設	1	2	3	4	5
⑦ 下曽我市民集会施設	1	2	3	4	5
⑧ 図書館（星崎記念館）	1	2	3	4	5
⑨ かもめ図書館	1	2	3	4	5
⑩ 小田原文学館	1	2	3	4	5
⑪ 市民会館	1	2	3	4	5
⑫ 郷土文化館	1	2	3	4	5
⑬ 松永記念館（郷土文化館分館）	1	2	3	4	5
⑭ 尊徳記念館	1	2	3	4	5
⑮ 清閑亭	1	2	3	4	5
⑯ 生涯学習センター本館「けやき」	1	2	3	4	5
⑰ 生涯学習センター 国府津学習館	1	2	3	4	5
⑱ 生涯学習センター 豊川分館	1	2	3	4	5
⑲ 生涯学習センター 上府中分館	1	2	3	4	5
⑳ 生涯学習センター 曾我分館	1	2	3	4	5
㉑ 生涯学習センター 片浦分館	1	2	3	4	5
㉒ 生涯学習センター 大窪分館	1	2	3	4	5
㉓ 梅の里センター	1	2	3	4	5

施 設 名		利 用 頻 度				
		1 毎 日 ・ ほ ぼ 毎 日	2 週 に 一 回 程 度	3 月 に 一 回 程 度	4 年 に 一 回 程 度	5 利 用 し て い な い
②4	曾我みのり館（梅の里センター分館）	1	2	3	4	5
②5	社会福祉センター	1	2	3	4	5
②6	保健センター	1	2	3	4	5
②7	前羽福祉館	1	2	3	4	5
②8	生きがいふれあいセンター「いそしぎ」	1	2	3	4	5
②9	下中老人憩の家	1	2	3	4	5
③0	総合文化体育館「小田原アリーナ」	1	2	3	4	5
③1	城山陸上競技場	1	2	3	4	5
③2	小田原テニスガーデン	1	2	3	4	5
③3	城山庭球場	1	2	3	4	5
③4	小峰庭球場	1	2	3	4	5
③5	御幸の浜プール	1	2	3	4	5
③6	城内弓道場	1	2	3	4	5
③7	酒匂川スポーツ広場	1	2	3	4	5
③8	上府中公園スポーツ広場	1	2	3	4	5
③9	小田原球場	1	2	3	4	5
④0	上府中公園	1	2	3	4	5
④1	いこいの森	1	2	3	4	5
④2	小田原フラワーガーデン	1	2	3	4	5
④3	小田原こどもの森公園「わんぱくらんど」	1	2	3	4	5
④4	辻村植物公園	1	2	3	4	5
④5	石垣山一夜城歴史公園	1	2	3	4	5
④6	小田原城址公園	1	2	3	4	5
④7	小田原城天守閣	1	2	3	4	5
④8	小田原城歴史見聞館	1	2	3	4	5
④9	なりわい交流館	1	2	3	4	5

■財源不足への対応方法について

(億円) 【図】 今後 30 年間で公共施設の建替えや修繕に必要な費用



小田原市では、上の図のように、今後 30 年間で公共施設の建替えや修繕に必要な費用に対して、約 1,070 億円の財源不足が見込まれています。人口減少による税収減も想定される中で、これまでどおりにすべての施設を維持管理していくことは困難な状況です。

今後、市がどのような対応方法を実施すべきだと思いますか。該当する番号に○をつけてください。

対応方法	1 実施すべき	2 どちらかという 実施すべき	3 どちらかという 実施すべきでない	4 実施すべきでない
① 施設を長寿命化する	1	2	3	4
② 一部の施設を売却して財源を確保する	1	2	3	4
③ 施設の統廃合・複合化を進め施設の数や面積を減らす	1	2	3	4
④ サービスの提供を民間にゆだねる	1	2	3	4
⑤ サービス水準を見直す（開館日数など）	1	2	3	4
⑥ 使用料を値上げして、施設を維持する	1	2	3	4
⑦ 他の事業を廃止して、予算を施設の維持に充てる	1	2	3	4

■その他、公共施設に関してご意見がありましたらご記入ください。

欄が不足する場合は、別紙にご記入いただき添付してください。

新たな住民窓口サービスと支所等の再編について

1 実施方針

(1) 支所等住民窓口

マイナンバーカードを用いたコンビニエンスストアでの証明書交付サービスや郵便局（10局）との業務提携による郵便局窓口での証明書交付サービスを実施する。

支所等住民窓口は、施設の老朽化や利用状況等を考慮し、現在の16か所から5か所に縮減し、11か所を一斉に廃止する。

これに合わせて、本庁の火曜日窓口延長やマロニエ住民窓口の休日開庁の見直し及び本庁の休日開庁の実施を検討する。

ア コンビニエンスストア・郵便局での証明書交付サービス

【開始予定日】 平成31年1月15日（火）

【証明書交付手数料】 市窓口と同額

イ 存続・廃止窓口

存続窓口	本庁戸籍住民課・マロニエ住民窓口・いずみ住民窓口・ こゆるぎ住民窓口・アークロード市民窓口
廃止窓口	大窪支所・早川支所・豊川支所・上府中支所・下曾我支所・ 片浦支所・曾我支所・中央連絡所・国府津駅前窓口コーナー・ 酒匂窓口コーナー・桜井窓口コーナー

【廃止予定日】 平成31年3月15日（金）

(2) 廃止窓口の支所等に併設される社会教育施設について

ア 生涯学習センター分館（豊川分館、上府中分館、曾我分館、片浦分館、大窪分館）

支所廃止に合わせて廃止することを基本とするが、今後の機能の配置について、公共施設再編基本計画策定と合わせて検討する。

イ 国府津駅前ふらっとスポット

窓口コーナー廃止に合わせ廃止するが、集会機能については確保する。なお、その手法は、国府津駅周辺整備事業に合わせて検討する。

ウ 図書館分館（豊川分館、上府中分館、曾我分館、片浦分館）

支所廃止に合わせて4分館を廃止する。現在、分館利用者は多くないが、引き続き図書機能を要望する地域については、自動車文庫の配本所の設置について調整を行う。

2 新たな住民窓口サービスと支所等の再編に関する市民説明会の開催予定

日 時	会 場	定 員
平成29年12月15日(金) 午後7時から	マロニエ2階集会室202	100人
12月16日(土) 午後2時から	市役所7階大会議室	300人
12月17日(日) 午後2時から	マロニエ2階集会室202	100人

※上記説明会に加え、地域に出向いて丁寧に説明をしていきたいと考えている。

支所等住民窓口の利用状況及び生涯学習センター分館等の利用状況等

1 支所等住民窓口の利用状況等

(1) 支所等住民窓口の利用状況

住民窓口取扱件数の推移

取扱業務	平成 18 年度	平成 23 年度	平成 28 年度	減少率 (H18 比較)
証明交付業務 (件)	288,572	254,435	240,689	△17%
届出業務 (件)	107,914	95,649	74,420	△31%
収納業務 (件)	445,950	392,538	336,439	△25%

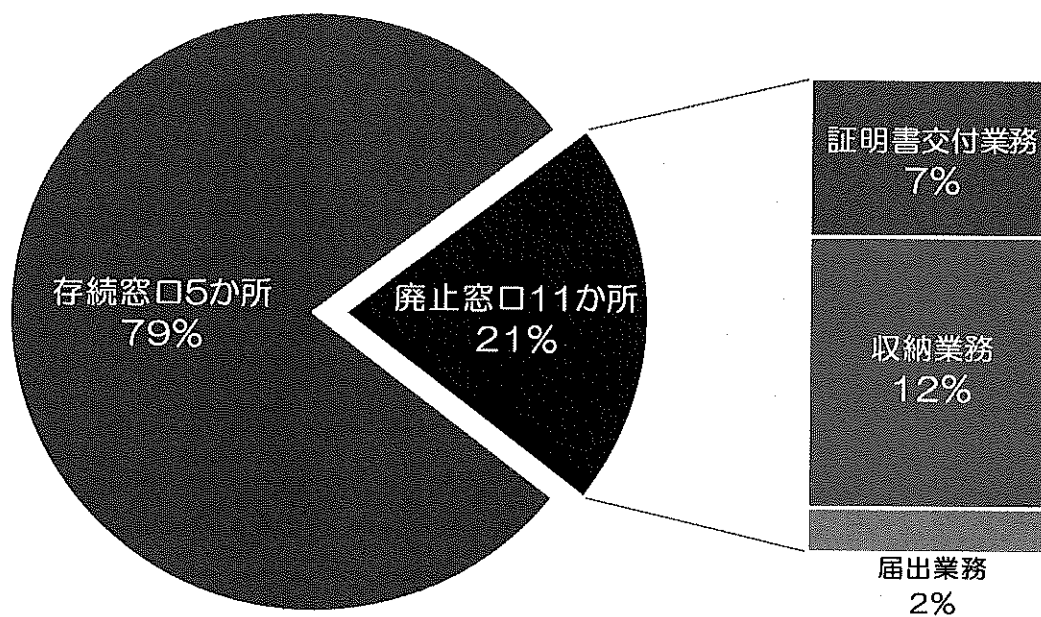
住民窓口取扱件数及び利用状況 (平成 28 年度) (内訳)

住民窓口名	築年	証明交付業務		届出業務		収納業務		合計	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
本庁戸籍住民課	S51	107,525	44.7	30,254	40.6	88,230	26.2	226,009	34.7
マロニエ住民窓口	H7	43,128	17.9	19,245	25.9	81,905	24.4	144,278	22.1
いずみ住民窓口	H17	14,981	6.2	8,302	11.1	29,643	8.8	52,926	8.1
こゆるぎ住民窓口	H19	6,483	2.7	2,979	4.0	9,881	2.9	19,343	3.0
アークロード市民窓口	—	21,133	8.8	—	—	51,580	15.3	72,713	11.2
大窪支所	S3	4,751	2.0	1,996	2.7	9,291	2.8	16,038	2.5
早川支所	—	2,685	1.1	1,007	1.3	5,055	1.5	8,747	1.3
豊川支所	S29	8,354	3.5	2,799	3.8	15,515	4.6	26,668	4.1
上府中支所	S29	2,920	1.2	1,084	1.5	5,661	1.7	9,665	1.5
下曽我支所	H4	3,052	1.3	1,344	1.8	5,623	1.7	10,019	1.5
片浦支所	S28	598	0.2	270	0.4	918	0.3	1,786	0.3
曽我支所	S31	1,815	0.8	483	0.6	2,800	0.8	5,098	0.8
中央連絡所	S40	9,189	3.8	4,657	6.3	14,958	4.5	28,804	4.4
国府津駅前窓口コーナー	H8	3,929	1.6	—	—	4,483	1.3	8,412	1.3
酒匂窓口コーナー	S59	3,451	1.4	—	—	3,724	1.1	7,175	1.1
桜井窓口コーナー	S63	6,695	2.8	—	—	7,172	2.1	13,867	2.1
合 計		240,689	100.0	74,420	100.0	336,439	100.0	651,548	100.0

※収納件数には手数料徴収件数が含まれる。

存続窓口・廃止窓口の利用状況（平成 28 年度）

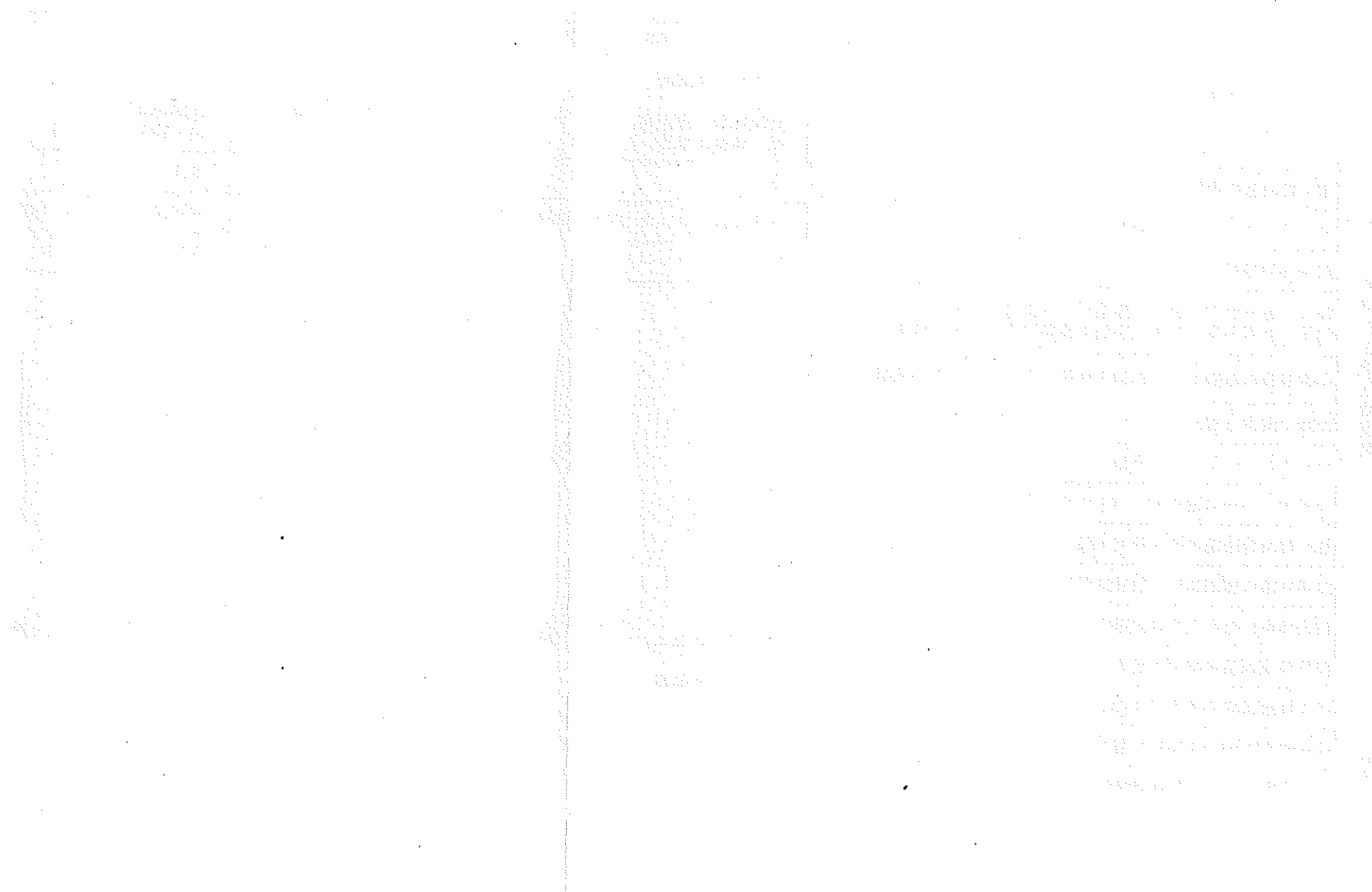
	住民窓口名	全取扱件数(件)	割合 (%)
存続窓口	本庁戸籍住民課・マロニエ住民窓口・いずみ住民窓口・ こゆるぎ住民窓口・アークロード市民窓口	515,269	79
廃止窓口	上記を除く支所等住民窓口	136,279	21
	合 計	651,548	100



支所等再編後の住民窓口業務の取扱いの考え方について

住民窓口の取扱業務		現 状	再編後
証明書 交付業務	住民票の写し	本庁、マロニエ、いずみ、こゆるぎ、アークロード、 各支所、連絡所、窓口コーナー	本庁、マロニエ、いずみ、こゆるぎ、アークロード コンビニエンスストア・郵便局 ※住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄・抄本、戸籍の 附票の写し、市民税・県民税証明書は、コンビニエンス ストア・郵便局での証明書交付サービスの対象となる。
	印鑑登録証明書		
	戸籍謄・抄本		
	戸籍の附票の写し、身分証明書		
	住居表示の証明		
	税証明		
収納 業務	市税、国民健康保険料など	マロニエ、いずみ、こゆるぎ、アークロード、 各支所、連絡所 金融機関、郵便局、コンビニエンスストア・MMK設置店（一部の 税・料金に限る。）	マロニエ、いずみ、こゆるぎ、アークロード、 金融機関、郵便局、コンビニエンスストア・MMK設置店（一部の 税・料金に限る。）
届出 業務	戸籍住民課 所管業務	電子証明書の申請	本庁
		マイナンバーカードの受取	本庁又はマロニエ（交付通知書で指定）
		広域証明発行サービス	本庁、アークロード
		転入・転出などの届出（住基カード又はマイナンバーカードを 利用した転入届、外国人住民の異動は本庁のみの取扱い）	本庁、マロニエ、いずみ、こゆるぎ
		印鑑登録の申請など（外国人住民の方は本庁のみの取扱い）	
		戸籍に関する届出	
		マイナンバーカードの申請	
		マイナンバーの通知カードの再交付申請	
		埋火葬及び斎場の使用許可申請	
	他課所 管業務	生活保護の傷病届出・診療依頼書の交付	
		住民異動に伴う入学通知書の交付	
		国民健康保険の被保険者証の交付	
		国民健康保険の資格喪失の届出	
		国民健康保険の保険給付費の申請	
		住民異動に伴う後期高齢者医療保険の手続き	
		後期高齢者医療保険の保険給付費の申請	
		国民年金の加入手続きなど	
		児童手当の申請	
		小児医療費助成に係る申請など	
		重度障害者医療費助成に係る申請など	
		介護保険の申請	

本庁・・・戸籍住民課 マロニエ・・・マロニエ住民窓口 いずみ・・・いずみ住民窓口 こゆるぎ・・・こゆるぎ住民窓口 アークロード・・・アークロード市民窓口
各支所・・・大窪支所・早川支所・豊川支所・上府中支所・下曾我支所・片浦支所・曾我支所
連絡所・・・中央連絡所
窓口コーナー・・・国府津駅前窓口コーナー・酒匂窓口コーナー・桜井窓口コーナー



(2) 新たな住民窓口サービスの実施内容(案)

コンビニ・郵便局交付開始予定		証明書の種類	証明書交付手数料	カード交付率
小田原市	H31.01	住民票の写し・印鑑登録証明書・ 戸籍の附票の写し・ 市民税・県民税証明書(課税証明)	300円(同額)	11.68%
		戸籍証明書	450円(同額)	

※マイナンバーカード交付率は平成29年10月31日時点

取扱郵便局 (10局)	小田原郵便局・小田原板橋郵便局・小田原早川郵便局・下曽我郵便局・曾我郵便局・ 小田原成田郵便局・根府川郵便局・国府津駅前郵便局・栢山駅前郵便局・酒匂郵便局
----------------	--

県内コンビニ交付の状況

	自治体名	開始時期	証明書の種類	証明書交付手数料	カード交付率
1	横浜市	H29.01	住民票の写し・住民票記載事項証明書・ 印鑑登録証明書・戸籍の附票の写し	250円(50円減額)	12.83%
			戸籍証明書	450円(同額)	
2	川崎市	H28.01	住民票の写し・住民票記載事項証明書・ 印鑑登録証明書・戸籍の附票の写し・ 市民税・県民税課税額(非課税、免除) 証明書	300円(同額)	12.38%
			戸籍証明書	450円(同額)	
3	相模原市	H28.01	住民票の写し・印鑑登録証明書・ 戸籍の附票の写し	250円(50円減額)	12.16%
			戸籍証明書	400円(50円減額)	
4	平塚市	H29.10	住民票の写し・印鑑登録証明書・ 戸籍の附票の写し・ 市民税・県民税証明書(課税証明書)	300円(同額)	12.33%
			戸籍証明書	450円(同額)	
5	鎌倉市	H29.10	住民票の写し・印鑑登録証明書	300円(同額)	14.46%
6	藤沢市	H23.02	住民票の写し・印鑑登録証明書	300円(同額)	12.56%
7	茅ヶ崎市	H26.02	住民票の写し・印鑑登録証明書	300円(同額)	12.92%
8	厚木市	H28.01	住民票の写し・印鑑登録証明書	300円(同額)	12.10%
9	大和市	H28.01	住民票の写し・印鑑登録証明書	300円(同額)	13.21%
10	伊勢原市	H29.10	住民票の写し・印鑑登録証明書・ 戸籍の附票の写し・ 市県民税課税所得証明書	300円(同額)	12.12%
			戸籍証明書	450円(同額)	
11	座間市	H23.03	住民票の写し・印鑑登録証明書	250円(50円減額)	13.07%

県内郵便局交付の状況

	自治体名	開始時期	証明書の種類	証明書交付手数料
1	秦野市	H24.10	住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍の附票の写し・ 所得証明書・課税証明書・非課税証明書	300円(同額)
			戸籍証明書	450円(同額)

2 生涯学習センター分館等の利用状況等

生涯学習センター分館等の施設概要及び利用状況

施設名			豊川分館	上府中分館	曾我分館	片浦分館	大窪分館	国府津駅前 ふらっと スポット	
所在			成田 477-1	千代 813	下大井 75-1	根府川 77-1	板橋 179-5	国府津 4-1-1	
構造			木造平屋建	木造平屋建	木造一部鉄筋 コンクリート 造平屋建	木造 2 階建	木造 2 階建	軽量鉄骨プレ ハブ 2 階建	
生涯学習センター分館等	開所		S 29. 8 月	S 29. 10 月	S 31. 7 月	S 28. 3 月	S 3. 10 月	H 8. 3 月	
	面積		251. 31 m ²	206. 94 m ²	161. 60 m ²	116. 13 m ²	64. 26 m ²	48. 60 m ²	
	部屋構成		講堂 会議室 和室	講堂	講堂 和室	講堂 和室	講堂	生涯学習室	
	利用状況	H26	件 数	963 件	422 件	161 件	34 件	12 件	512 件
			利 用 人 数	14, 642 人	11, 092 人	2, 795 人	197 人	36 人	3, 559 人
			稼働率	30. 92%	40. 66%	7. 76%	3. 28%	1. 16%	47. 67%
		H27	件 数	1, 267 件	501 件	171 件	5 件	4 件	433 件
			利 用 人 数	16, 239 人	8, 935 人	2, 805 人	34 人	58 人	2, 371 人
			稼働率	40. 45%	47. 99%	8. 19%	0. 48%	0. 38%	40. 20%
		H28	件 数	1 , 328 件	498 件	136 件	5 件	7 件	413 件
			利 用 人 数	16, 157 人	10, 055 人	2, 416 人	41 人	59 人	2, 308 人
			稼働率	42. 65%	47. 98%	6. 55%	0. 48%	0. 67%	38. 35%
図書館分館	開所		S 29. 12 月	S 32. 4 月	S 35. 4 月	S 32. 4 月			
	面積		16. 00 m ²	19. 80 m ²	3. 30 m ²	15. 00 m ²			
	配本数		150 冊	120 冊	60 冊	200 冊			
	利用状況	H26	利 用 人 数	295 人	246 人	81 人	91 人		
			貸 出 件 数	667 冊	388 冊	173 冊	197 冊		
		H27	利 用 人 数	333 人	48 人	75 人	202 人		
			件 数	717 冊	80 冊	166 冊	480 冊		
		H28	利 用 人 数	302 人	35 人	57 人	177 人		
			件 数	637 冊	72 冊	163 冊	382 冊		

3 これまでの検討の経緯

- (1) 平成 29 年 6 月 7 日 総務常任委員会で「新たな住民窓口サービスについて」報告
- (2) 平成 29 年 6 月 7 日～7 月 15 日 26 地区連合自治会ごとの自治会長会議にて「新たな住民窓口サービスについて」説明及び意見聴取を実施 【市民部・文化部】
- (3) 平成 29 年 7 月 3 日 自治会連合会長会議で 6 月 7 日の総務常任委員会報告事項の「新たな住民窓口サービスについて」を説明
- (4) 教育委員会定例会、社会教育委員会議、図書館協議会において、生涯学習センター分館、国府津駅前ふらっとスポット、図書館分館の今後のあり方について、報告・協議

【支所等・コンビニ・郵便局の分布】

※再編後の住民窓口は、5カ所（本庁含む）。

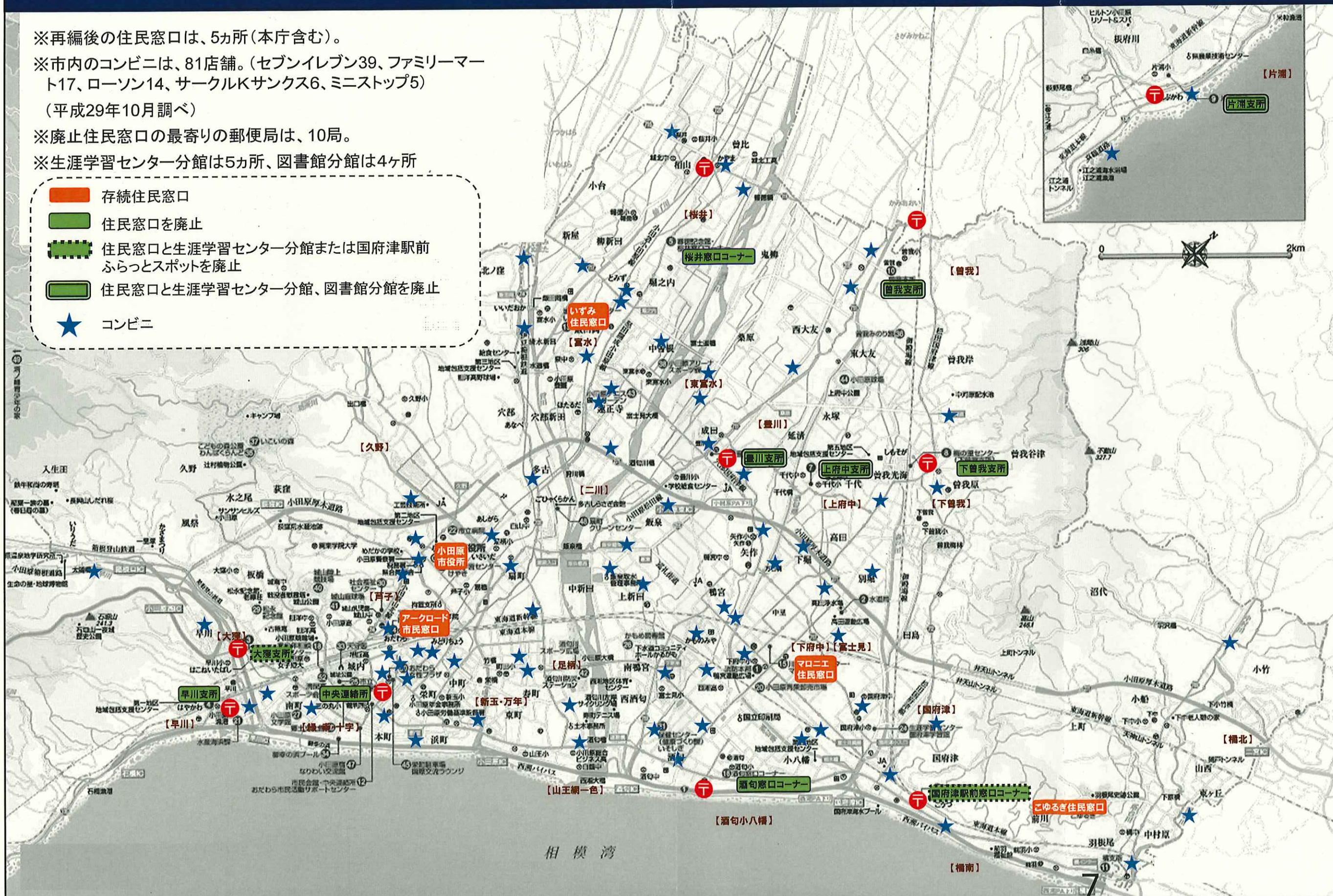
※市内のコンビニは、81店舗。(セブンイレブン39、ファミリーマート17、ローソン14、サークルKサンクス6、ミニストップ5)

(平成29年10月調べ)

※廃止住民窓口の最寄りの郵便局は、10局。

※生涯学習センター分館は5カ所、図書館分館は4ヶ所

-  存続住民窓口
-  住民窓口を廃止
-  住民窓口と生涯学習センター分館または国府津駅前ふらっとスポットを廃止
-  住民窓口と生涯学習センター分館、図書館分館を廃止
-  コンビニ



平成29年度小田原市いっせい防災訓練実施結果 及び参加者アンケート結果について

1 日 時 平成29年10月21日（土）午前8時から正午頃まで

2 天 候 小雨

3 訓練項目

- (1) 住民訓練 シェイクアウト、避難訓練、情報受伝達訓練、広域避難所開設準備・運営訓練（避難所用テレビ設置ほか）、地域ごとの個別訓練（裏面）
- (2) 緊急速報メール訓練

4 参加人員 7,910人

住民参加 7,383人

小田原市消防団 256人

広域一般廃棄物事業協同組合 55人

市職員 216人(本部:32人 配備職員:138人 避難所担当職員:46人)

5 参加者アンケート結果（別紙）

- (1) 対象者 訓練参加住民
- (2) 回答数 1,995件（男：908、女：625、未記載：462）
- (3) 結果概要

ア 食料の備蓄に関しては、約7割の方が備蓄しているものの、3割の方が備蓄しておらず、その理由は、大半が「特に理由はない」となっている。一部ではあるが行政の備蓄や支援等を当てにしているとの回答も見える。飲料水に関しても概ね同様の傾向が見られる。食料及び飲料水については「最低3日分、推奨1週間分」の家庭での備蓄推進をさらに進めていきたい。

イ 家具等の固定については、「特に固定していない」との回答が全体の4分の1を占めている。自分の身を守るためには、家屋の耐震と併せて家具の固定は非常に重要であるので、各家庭でもう一度部屋の点検を行っていただくよう促してまいりたい。

ウ 災害時のトイレについては、食料等の備蓄と併せて非常に重要であり、熊本地震でも大きな課題となっている。しかし、携帯トイレ等の備蓄をしている人が約3割程度にとどまっている。避難所等では不足することが想定されるので、行政での備蓄と併せて各家庭での備蓄を進めてもらうよう市民に周知していきたい。

平成29年度小田原市いっせい防災訓練計画(10/21)

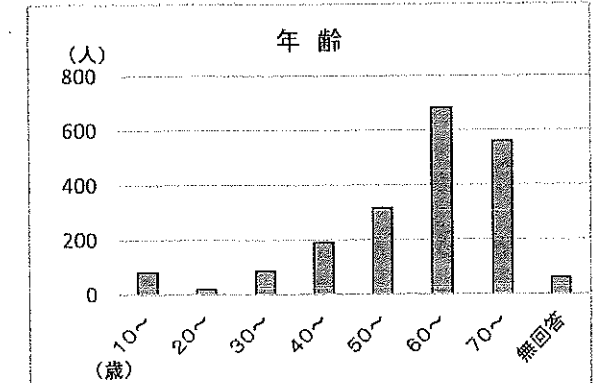
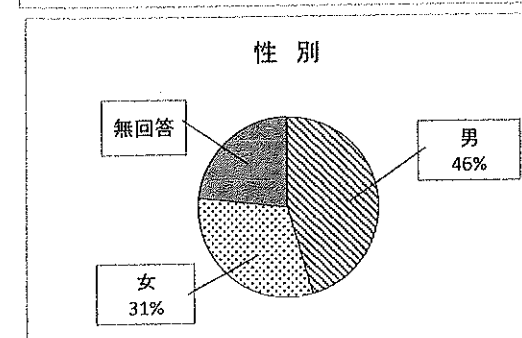
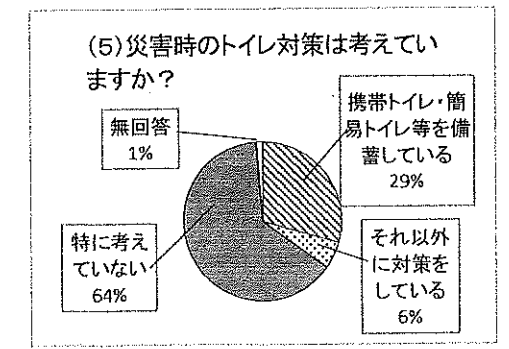
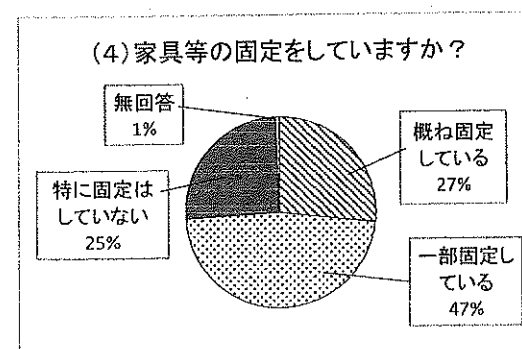
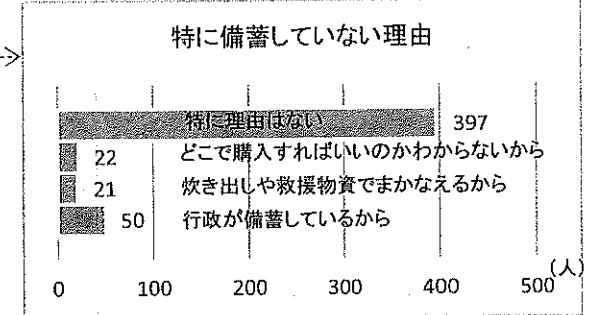
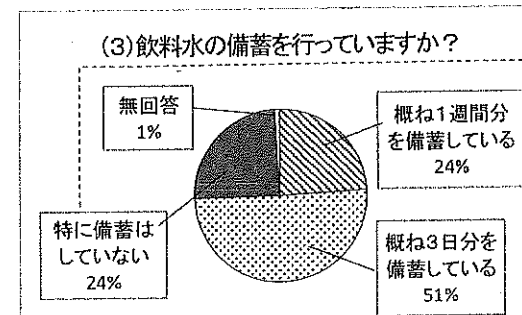
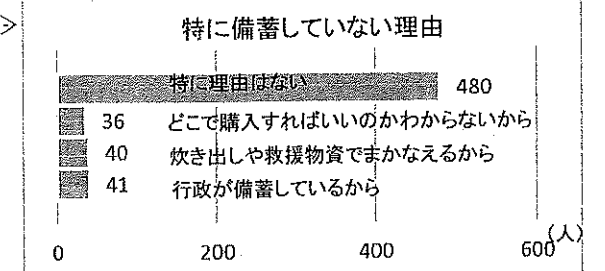
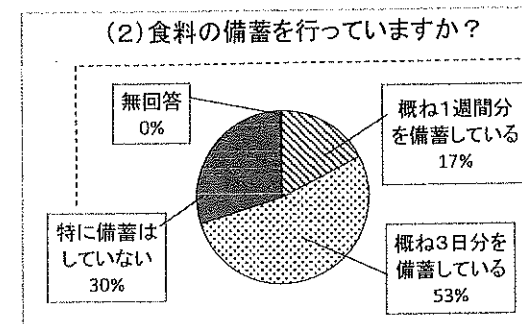
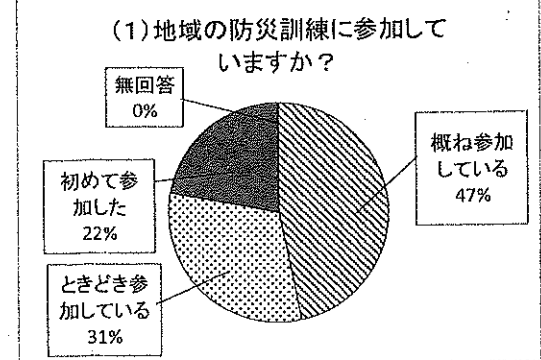
	小学校	連合名	訓練内容									備考
			避難者カード	耐震性貯水槽	訓練消火	救護法	仮設トイレ	レンジバーナー炊き出し訓練	資機材取扱い	防災情報システム	消防団操法演技	
1	三の丸	緑・万年幸・十字	○ (十字地区のみ)	○	○							防災リーダーによる救助訓練(実演)
2	新玉	新玉	○	○	○		○	○	○			
3	足柄	二川	○			○		○				
4	芦子	芦子	○		○	○			○			
5	大窪	大窪				○					○	
6	早川	早川			○	○				○		
7	山王	山王網一色										シェイクアウト HUG訓練
8	久野	久野	○	○			○	○	○			
9	富水	富水	○	○		○						
10	町田	足柄	○	○	○			○				
11	桜井	桜井	○					○			○	ペット避難
12	片浦	片浦	○		○	○		○				
13	東富水	東富水		○	○	○						
14	報徳		○		○	○		○		○		
15	下府中	下府中	○			○ (雨天時)	○	○				
16	千代	上府中	○	○	○	○						
17	下曽我	下曽我	○		○	○	○		○			
18	国府津	国府津	○			○		○	○			要援護者安否確認
19	酒匂	酒匂・小八幡	○		○	○		○			○	
20	曾我	曾我	○		○			○	○	○	○	
21	前羽	前羽	○			○					○	
22	下中	橘北	○	○	○	○	○	○				
23	矢作	下府中	○	○	○	○ (雨天時)		○				
24	豊川	豊川	○				○	○				
25	富士見	富士見	○	○	○	○	○		○			
計			21	10	15	15	7	14	7	3	5	

※訓練当日が雨天のため、訓練内容を変更して訓練を行った。

平成29年度いっせい防災訓練参加者アンケート結果集計

		合計	割合
(1)地域の防災訓練に参加していますか？	1 概ね参加している	933	46.8%
	2 とときどき参加している	623	31.2%
	3 初めて参加した	436	21.9%
	無回答	3	0.2%
(2)食料の備蓄を行っていますか？	1 概ね1週間分を備蓄している	345	17.3%
	2 概ね3日分を備蓄している	1,056	52.9%
	3 特に備蓄はしていない	589	29.5%
	無回答	5	0.3%
その理由を教えてください。(複数回答可)	1 行政が備蓄しているから	41	6.9%
	2 炊き出しや救援物資でまかなえるから	40	6.7%
	3 どこで購入すればいいのかわからないから	36	6.0%
	4 特に理由はない	480	80.4%
(3)飲料水の備蓄を行っていますか？	1 概ね1週間分を備蓄している	479	24.0%
	2 概ね3日分を備蓄している	1,010	50.6%
	3 特に備蓄はしていない	487	24.4%
	無回答	19	1.0%
その理由を教えてください。(複数回答可)	1 行政が備蓄しているから	50	10.2%
	2 炊き出しや救援物資でまかなえるから	21	4.3%
	3 どこで購入すればいいのかわからないから	22	4.5%
	4 特に理由はない	397	81.0%
(4)家具等の固定をしていますか？	1 概ね固定している	533	26.7%
	2 一部固定している	944	47.3%
	3 特に固定はしていない	506	25.4%
	無回答	12	0.6%
(5)災害時のトイレ対策は考えていますか？	1 携帯トイレ・簡易トイレ等を備蓄している	585	29.3%
	2 それ以外に対策をしている	110	5.5%
	3 特に考えていない	1,274	63.9%
	無回答	26	1.3%
性 別	男	908	45.5%
	女	625	31.3%
	無回答	462	23.2%
年 齢	10～	82	4.1%
	20～	19	1.0%
	30～	86	4.3%
	40～	190	9.5%
	50～	316	15.8%
	60～	683	34.2%
	70～	559	28.0%
	無回答	60	3.0%

◆ 実施日 平成29年10月21日(土)
◆ 天候 小雨
◆ 回答数 1,995 (H28 2,888)



平成29年度小田原市災害対策本部訓練実施結果について

1 概要

- (1) 日 時 平成29年11月16日(木) 午前9時00分～午後3時00分
- (2) 場 所 小田原市役所(各部局長室、執務室、庁議室など) ほか出先施設
- (3) 対 象 者 理事者、部局長以下職員、本部連絡員、本部事務局情報員
※全職員が防災ベストを着用し、通常業務に差し支えない範囲で多くの職員が参加した。

2 訓練設定

- (1) 発災日時 平成29年11月15日(水) 午前9時00分
※発災24時間後から30時間後までを訓練対象とした。
- (2) 想定地震 平成27年3月神奈川県公表の「神奈川県西部地震」被害想定に基づく。
※小田原市の最大震度は6強。

3 訓練の特徴(昨年度からの変更点)

- (1) 訓練対象者を全職員に拡大し、全庁的な訓練とした。
- (2) 各部から選出された訓練担当者が、各部の応急対策に係る被害想定を作成するなど、訓練の計画段階から携わり、より現実的な訓練を行った。
- (3) 訓練当日は、訓練参加者に対して、災害時に市民や関係機関から寄せられる問い合わせや要請などの情報連絡の想定を計563件付与した。
- (4) 株式会社ジェイコム小田原やFM小田原株式会社などの報道機関にも参加協力をいただき、市による模擬の記者会見を実施した。

4 本部事務局における課題

災害対策本部事務局においては、災害情報のトリアージ(優先度の選別)、被害状況や対応状況の情報の一元化及び情報共有等の課題があった。

5 今後に向けて

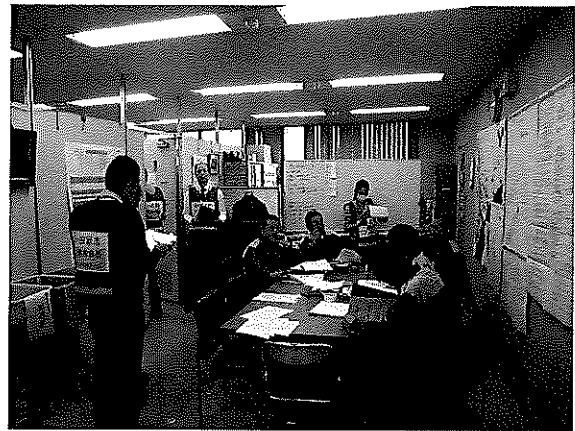
- (1) 訓練に参加した職員を対象に、アンケートを実施し、今後の訓練の企画・運営に向けて検討を行う。
- (2) 各課や各部局内で訓練の振り返りを行い、課題の抽出をし、課題解決に向けた調整や訓練を実施する。

6 訓練中の様子

災害対策本部会議



部局長室



災害対策本部事務局



記者会見

